

# 森と水で命をつなぎ合わせ、共生社会＝地域自治を

ともに創っていくために！

～「馬尻山メガソーラー建設に反対する会」共同代表・向井秀充村議のお話を聴く～

9・18(土) PM1:30～(1時開場) 生涯学習センター3F

(資料代:500円)

## ◎奈良市民の命の水を守っている山添村

奈良市の東隣、大和高原に抱かれて三重県と接する山添村は、人口3500人ほどの農山村です。その山あいを通ずる流れが布目川となり木津川に注いでいますが、そこに建設された布目ダムが奈良市民の命の水の8割を供給しています。そして村民は川の清掃等を行って、水質保全に力を尽くしています。奈良市民の命の水は山添村によって守られている！

## ◎山添村民の公共水道の水源地を破壊し、汚染するメガソーラー建設！

山添村民の公共水道の水源地は自然豊かな馬尻山にあり、ここに 81ha・甲子園球場21個分の広さのメガソーラーが建設されようとしている。水源涵養林(かんようりん・水源を保ち育て、河川流量を調節するための森林)から流れだす水は造成で汚濁され、水質水量の悪化が懸念される。奈良市民の水を守っている山添村の村民の命の水が破壊・汚染されるという理不尽さを、奈良市民として座視することはできない！

## ◎熱海の土石流災害を繰り返してはならない！

巨大なメガソーラー建設は馬尻山の自然豊かな涵養の森を広大に伐採し、裸地とし、山を切り崩し、谷を埋め立て、造成地末端部での高盛り土が予定されている。これを聞くと誰もが先日の熱海土石流災害を想起するだろう。ソーラー計画地の下流域の住居や農地に暮らす人々を日々そのリスクに直面させる。

## ◎馬尻山はコナラなどの広葉樹と針葉樹が混生する自然豊かな涵養の森。

馬尻山にはクマ鷹など絶滅が危惧される数多くの動植物が生息している。この自然環境を大規模に破壊する「自然に優しいエネルギー」って？！メガソーラーは地元には何の有益ももたらさない。地元は何の責任も負わない東京在籍の、正体もよく判らない企業の Fit の利権目当ての金儲け、それだけだ。

## ◎森と水でつながる地域自治＝共生社会を！再エネ促進・乱開発禁止の県条例の制定を！

原発が立ちただかかって抑え込まれてきた日本の再生可能エネルギーは、ここへきて気候危機と国際的な流れに押されて大きな気運になってきている。しかし住民無視の巨大風力やメガソーラー等の自然破壊・環境破壊の金儲け主義も大きな害悪を垂れ流している。小規模分散・地産地消・管理運営への住民参画・地域自治＝コモンとしてのエネルギーという基本線の確立が求められている。それを破壊するメガソーラーや巨大風力建設は禁止されるべきだ。県条例の制定を！

向井秀充さんを奈良市にお迎えしてお話を聴くということは、奈良市民と山添村民が森と水で命をつなぎ合わせる共生社会＝地域自治をともにつくっていくという、私たちの意志表明となるべきだろう。

\*生涯学習センターは JR 奈良駅より徒歩10分 (杉ヶ町 23. Tel 0742-26-8811)

主催：奈良市の水道問題を考える市民フォーラム

連絡先 090-1791-1105(八木)